

NPO法人学生文化創造の主な活動状況

1. スチューデントコンサルタント認定試験

大学等の教職員を対象に、学生支援・相談担当者としての知識や能力、適性等について試験（論文・筆記・口述試験）を実施し、一定レベル以上の実力がある者を「スチューデントコンサルタント」として認定している。

2022(令和4)年度までの認定者は1,130名であり、その多くが各大学・短期大学等で学生支援の中核となって活躍している。

当初は国立大学の教職員の受験者・認定者が多かったが、2010(平成22)年度以降は私立大学の教職員が多くなっている。「一般」は、日本学生支援機構や民間会社からの受験・認定者である。

(年度別「スチューデントコンサルタント認定試験」認定者数)

単位：人

年度	国立	公立	私立	短大	高専	専門学校	一般	合計
2006(平成18)	28	0	9	0	0	0	20	57
2007(平成19)	27	0	19	1	1	0	7	55
2008(平成20)	37	1	37	6	0	0	2	83
2009(平成21)	45	1	25	2	1	0	3	77
2010(平成22)	24	2	43	3	1	1	2	76
2011(平成23)	23	4	44	2	0	0	1	74
2012(平成24)	27	1	51	1	0	0	3	83
2013(平成25)	23	2	43	1	1	0	0	70
2014(平成26)	23	3	51	0	1	0	1	79
2015(平成27)	28	1	28	1	1	0	0	59
2016(平成28)	13	1	39	1	0	2	1	57
2017(平成29)	28	1	53	1	0	0	1	84
2018(平成30)	17	7	35	1	0	1	3	64
2019(令和元)	19	2	61	0	0	1	1	84
2020(令和2)	—	—	—	—	—	—	—	—
2021(令和3)	11	1	56	0	2	1	0	71
2022(令和4)	13	1	42	0	0	0	1	57
累計	386	28	636	20	8	6	46	1,130

(注) 2020(令和2)年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。

2021(令和3)年度と2022(令和4)年度は、オンライン開催。

2. 学生支援相談に関する基礎研修講座

大学等における学生支援・相談の基礎的、基本的な知識等の修得を目的とした研修講座である。

受講者のほとんどが、スチューデントコンサルタント認定試験を受験している。学生支援の分野は幅広く、学生が益々多様化してきている中で、講義を通じて課題の整理や対応方法等の知識、技能を修得することは、認定試験の受験に関わらず大学職員として必要であり意義がある。

この研修講座のテキスト及び各大学・短期大学等の学生支援の参考解説書として、2014(平成26)年4月に「学生支援・相談の基礎と実務」を、2019(令和元)年10月に姉妹編「変わる大学、求められる学生支援」を発行している。

(年度別「基礎研修講座」受講者数)

単位：人

年度	国立	公立	私立	短大	高専	専門学校	一般	合計
2006(平成18)	31	0	11	0	0	0	17	59
2007(平成19)	33	1	19	5	2	0	6	66
2008(平成20)	30	1	32	6	1	0	1	71
2009(平成21)	36	3	23	2	0	0	4	68
2010(平成22)	26	1	34	1	0	1	1	64
2011(平成23)	24	3	47	2	0	0	1	77
2012(平成24)	30	0	37	1	0	0	3	71
2013(平成25)	26	3	48	0	1	0	0	78
2014(平成26)	24	3	47	1	1	0	1	77
2015(平成27)	26	1	26	1	0	0	0	54
2016(平成28)	13	1	34	2	0	1	1	52
2017(平成29)	28	3	48	2	0	0	3	84
2018(平成30)	18	9	47	3	0	1	5	83
2019(令和元)	22	2	55	1	0	1	1	82
2020(令和2)	—	—	—	—	—	—	—	—
2021(令和3)	14	3	68	0	2	3	0	90
2022(令和4)	15	1	45	1	0	0	1	63
累計	396	35	621	28	7	7	45	1,139

(注) 2020(令和2)年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。

2021(令和3)年度と2022(令和4)年度は、オンライン開催。

3. これからの大学を支える若手職員研究会

2017(平成29)年度から、これからの大学を支える若手職員を対象に、大学改革の動向や今後の課題、学生支援の現状と課題、大学の管理運営マネジメントなど、大学運営や学生支援相談等に関して必要な基本的知識を修得し、大学職員としての能力向上に資することを目的に研究会を企画・実施している。(年1回・春季/実施)。

(年度別「若手職員研究会」参加者数)

単位：人

年度	国立	公立	私立	短大	高専	専門学校	一般	合計
2017(平成29)	18	1	68	2	0	0	2	91
2018(平成30)	9	5	50	1	0	2	4	71
2019(令和元)	10	8	69	2	0	0	3	92
2020(令和2)	10	2	70	1	2	0	0	85
2021(令和3)	13	3	44	0	0	0	0	60
2022(令和4)	6	1	35	1	2	0	0	45
累計	66	20	336	7	4	2	9	444

(注) 2020(令和2)年度から2022(令和4)年度は、オンラインにより開催した。

4. 学生支援相談に関する研究会

スチューデントコンサルタント認定者を中心に、学生支援・相談の最新の動向等を踏まえ、より専門的な知識、技能等の修得を目的とする研究会を毎年、秋に実施している。専門分野の講師により講義やワークショップなど多彩なカリキュラムにより実施し、研究会を通じて受講者の連携は深まり、ネットワークを構築し、お互いに情報交換を行うなど学生支援の充実に努めている。

① 年度別「研究会」受講者数 (春季)

単位：人

年度	国立	公立	私立	短大	高専	専門学校	一般	合計
2008(平成20)	14	0	7	1	0	0	1	23
2009(平成21)	10	0	4	0	0	0	0	14
2010(平成22)	12	0	7	1	0	0	1	21
2011(平成23)	10	0	6	1	0	0	1	18
2012(平成24)	12	1	12	1	0	0	0	26
2013(平成25)	9	0	13	0	0	0	0	22
2014(平成26)	5	0	12	0	0	0	0	17
2015(平成27)	10	1	9	1	0	0	1	22
2016(平成28)	3	1	14	0	0	0	0	18
累計	85	3	84	5	0	0	4	181

(注) 春の研究会は、2016(平成28)年度で中止。

2017(平成29)年度から「これからの大学を支える若手職員研究会」に振り替えた。

② 年度別「研究会」受講者数（秋季）

単位：人

年度	国立	公立	私立	短大	高専	専門学校	一般	合計
2007(平成19)	8	0	8	0	1	0	0	17
2008(平成20)	5	0	11	1	0	0	1	18
2009(平成21)	6	0	14	0	0	0	1	21
2010(平成22)	6	0	6	1	0	0	0	13
2011(平成23)	6	1	18	3	0	0	0	28
2012(平成24)	5	0	18	0	0	0	0	23
2013(平成25)	12	0	17	1	0	0	1	31
2014(平成26)	10	2	16	0	0	0	0	28
2015(平成27)	—	—	—	—	—	—	—	—
2016(平成28)	4	1	20	1	0	0	0	26
2017(平成29)	16	7	39	1	0	0	0	63
2018(平成30)	17	8	30	4	7	4	0	70
2019(令和元)	8	7	26	3	1	1	1	47
2020(令和2)	3	4	28	1	0	2	0	38
2021(令和3)	5	3	22	1	4	1	0	36
2022(令和4)	5	3	20	1	0	0	1	30
累計	116	36	293	18	13	8	5	489

(注) 2015(平成27)年度は、「創立10周年記念シンポジウム」を実施したため中止。

2020(令和2)年度から2022(令和4)年度は、オンラインにより開催した。

5. 大学等の運営を担う中堅職員研究会

2021(令和3)年度から、大学・短大等の中堅職員（中途入職者含む）を対象に、大学等の管理運営に関する課題と対応や学生支援相談の在り方について、毎年テーマを特化して集中的に研究協議を行うことを目的に、企画。オンラインにより実施している。

(年度別「中堅職員研究会」受講者数)

単位：人

年度	国立	公立	私立	短大	高専	専門学校	一般	合計
2021(令和3)	6	0	21	4	0	2	0	33
2022(令和4)	6	0	34	2	2	0	0	44
累計	12	0	55	6	2	2	0	77